

(1) WG会合

会員相互の情報提供や意見交換を活発に行い、参加各社のビジネスに繋げる

- 自社紹介や意見交換・議論に十分な時間を割く
 - ✓ **自社紹介**
新規加入会員による自社紹介や、各社での取り組みの紹介を通じ、会員同士の交流を図る。
 - ✓ **話題提供や意見交換・議論**
昨今のビジネス課題を中心としたテーマや、個別のビジネス事例や課題についての話題提供をもとに、気象データの活用可能性や気象ビジネスの関わりなどについて意見交換・議論を行う。
- WG会合を定期的を開催する
 - ✓ 年に3~4回開催
 - ✓ オンライン形式を基本としつつ、ハイブリッド形式（対面とオンライン）での会合も年1回程度開催

(2) 普及啓発

気象ビジネスの裾野を広げ、交流を促す活動に取り組む

- 気象データのビジネス活用セミナーの実施
 - ✓ 年1回開催
 - ✓ 人材育成WGと共同企画し、気象データの活用事例を通じた普及啓発を促進する。
 - ✓ 前年度に引き続きオンライン開催とし、全国からの参加を可能とする。

- 気象データの利活用事例集の拡充
 - ✓ WXBCホームページ上に、利活用事例に関するインタビュー記事を掲載
企業の課題や分析方法、効果など、現場のリアルな声に重点を置いて紹介。
<https://www.wxbc.jp/exampleandinterview/>

- 法人会員のサービス紹介の拡充
 - ✓ WXBCホームページ上で、法人会員が自社サービスを紹介するページを運営
サービス提供企業ホームページへの遷移を促す造りとする事で、ユーザ企業とのマッチングも促進
<https://www.wxbc.jp/memberserviceintroduction/>

- 人物紹介の企画
 - ✓ 仕事上で気象データを扱ったことのある個人へのインタビュー記事を作成
気象に興味がある人にとって、職業選択やキャリア形成を考える際に参考となるコンテンツを目指す。

- 他機関との連携
 - ✓ 他機関主催イベントを活用した情報発信を行う。
他機関との共催によるセミナー等イベントの開催も視野に入れる。